

津軽海峡漁場細密調査

Ⅰ 調査目的

沿岸漁業振興の基礎となる漁場形成の基本的要因を解明し、人工魚礁設置の適地、増殖対策、年間操業計画に対する指標を与え、漁業経営の合理化に寄与する。

Ⅱ 調査内容

1. 調査期間 昭和45年7月1日～昭和45年8月28日

2. 調査場所 津軽海峡西部域（大間以西）

3. 調査員および調査船

調査員 調査課長 豊川 毅

技師 田村 真通

調査船 試験船 青鵬丸（19.94t 170HP）

4. 調査項目

(1) 水深

(2) 底質

5. 調査方法

(1) 調査海域を磁針方位東西南北1000m柵目に区画し、その分画線上を航走し、魚探により水深を測定した。

(2) 上記区画線上を航走し、2000m毎に採泥を行なった。

Ⅲ 調査結果

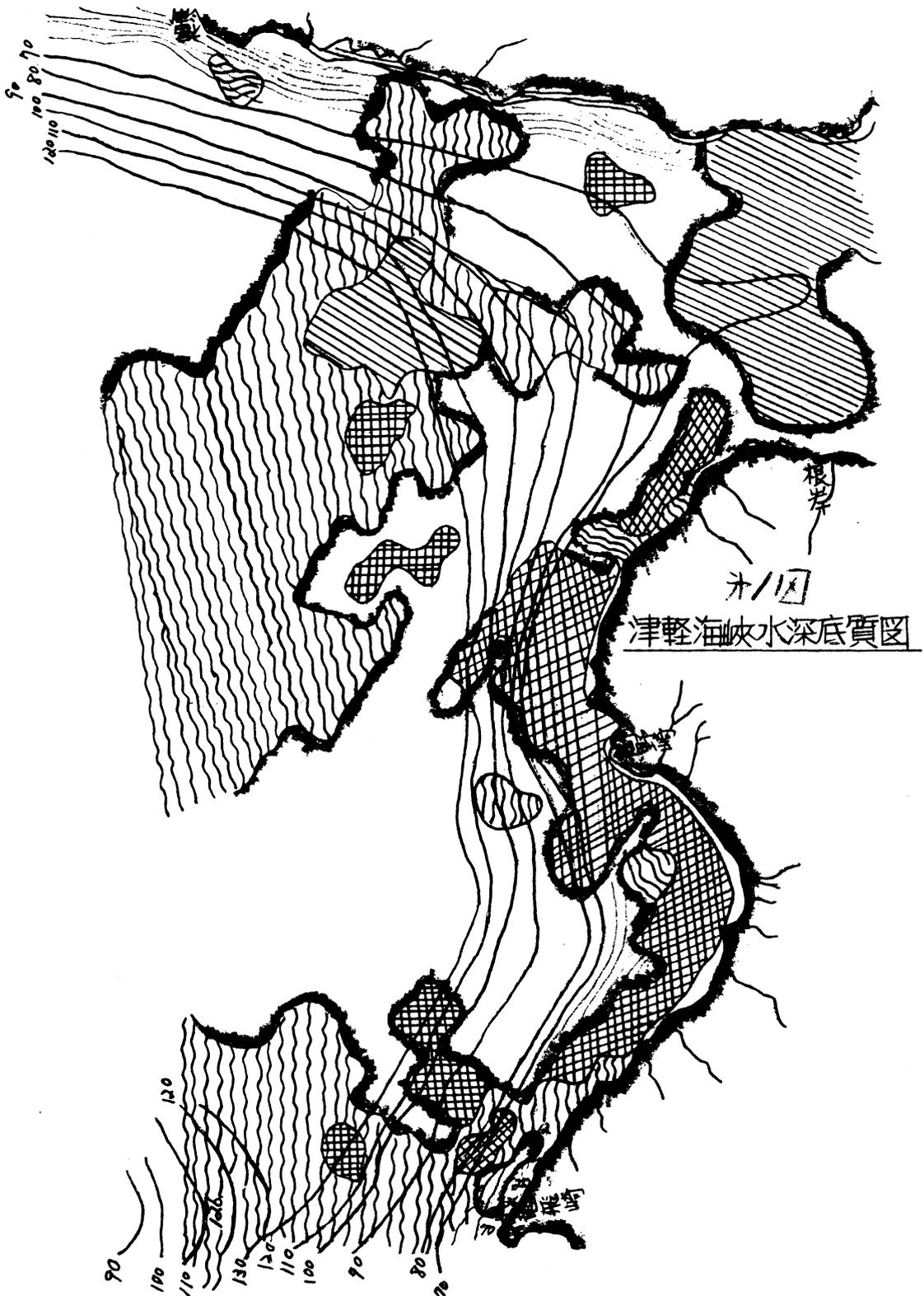
図1 のような水深底質図を作成した。

（津軽海峡西部域 水深底質図 昭和45年3月 青森県水産試験場発行）

Ⅳ 調査の結果および今後の課題

1. 調査の成果

この調査により津軽海峡西部域の水深底質についてその実態を把握できた。



水/因
津軽海峡水深底質図

- | | | | |
|---|---------|---|-----------------|
|  | S (砂) |  | R (岩盤) |
|  | MS (泥砂) |  | G. GS (砂利, 砂泥砂) |